

JobCenter

R12.8

**NonStop 版 JobCenter SV
インストールガイド**

- Windows XP, Windows 2003, Windows 2008 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- UNIX は、X/Open カンパニーリミテッドが独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。
- Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。
- SAP, ERP, BI は、SAP AG の商標もしくは登録商標です。
- HP-UX は、米国 Hewlett-Packard 社の商標です。
- AIX は、米国 IBM Corporation の商標です。
- NQS は、NASA Ames Research Center のために Sterling Software 社が開発した Network Queuing System です。
- その他、本書に記載されているソフトウェア製品およびハードウェア製品の名称は、関係各社の登録商標または商標です。

なお、本書内では、®、TM、©の記号は省略しています。

輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェア）は、外国為替令に定める提供を規制される技術に該当いたしますので、日本国外へ持ち出す際には日本国政府の役務取引許可申請等必要な手続きをお取り下さい。

許可手続き等にあたり特別な資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの当社営業拠点にご相談下さい。

はじめに

本書は、JobCenter のインストールやバージョンアップ方法などについて説明することを目的としています。なお、本書内に記載されている画面例と実際の画面とは異なることがありますので注意してください。

• 読み方

NonStop Server 上に JobCenter SV をインストール、またはバージョンアップされる場合
→ 本書をお読みください。

JobCenter MG と NonStop Server 上の JobCenter SV の連携環境を構築したい場合
→ NonStop Server 環境構築ガイドを目次に従いお読みください。

NonStop Server 上での JobCenter SV の機能を理解したい場合
→ NonStop Server 機能ガイドを参照してください。

JobCenter を初めて利用される場合
→ クイックスタート編を目次に従いお読みください。

JobCenter の基本的な操作方法を理解したい場合
→ 基本操作ガイドを目次に従いお読みください。

環境の構築や各種機能の設定を理解したい場合
→ 環境構築ガイドを参照してください。

その他機能についてお知りになりたい場合
→ 関連マニュアルの内容をお読みいただき、目的のマニュアルを参照してください。

• 凡例

本書内での凡例を紹介します。



： 気をつけて読んでいただきたい内容です。

注 : 本文中につけた注の説明

備考 : 本文中の補足説明

• 関連マニュアル

JobCenter に関するマニュアルです。JobCenter メディア内に格納されています。

最新のマニュアルは、**JobCenter 製品サイトのダウンロードのページ**を参照してください。

URL : <http://h50146.www5.hp.com/doc/manual/openview/jc.html>

資料名	概要
JobCenter インストールガイド	NonStop Server 以外の OS に JobCenter を新規にインストール、またはバージョンアップする方法について説明しています。
JobCenter クイックスタート編	初めて JobCenter をお使いになる方を対象に、JobCenter の基本的な機能と一通りの操作を説明しています。
JobCenter 基本操作ガイド	JobCenter の基本機能、操作方法について説明しています。
JobCenter 環境構築ガイド	JobCenter を利用するために必要な環境の構築、環境の移行や他製品との連携などの各種設定方法について説明しています。
JobCenter NQS 機能利用の手引き	JobCenter の基盤である NQS の機能を JobCenter から利用する方法について説明しています。
JobCenter クラスタ機能利用の手引き	クラスタシステムで JobCenter を操作するための連携方法について説明しています。
JobCenter SAP 機能利用の手引き	JobCenter を SAP と連携させるための方法について説明しています。
JobCenter インポート・エクスポート機能利用の手引き	ユーザ環境のバックアップや環境の移行の際に必要な、JobCenter 上のジョブネットワーク定義、スケジュール定義およびカレンダー定義のインポート・エクスポート機能について説明しています。
JobCenter 操作・実行ログ機能利用の手引き	JobCenter CL/Win からの操作ログ、ジョブネットワーク実行ログ取得機能および設定方法について説明しています。
JobCenter テンプレートガイド	JobCenter に標準添付されている各種テンプレートの利用方法について説明しています。
JobCenter コマンドリファレンス	GUI と同様にジョブネットワークの投入、実行状況の参照などをコマンドラインから行うために、JobCenter で用意されているコマンドについて説明しています。
NonStop 版 JobCenter SV インストールガイド	本書
JobCenter NonStop Server 機能ガイド	NonStop Server 版 JobCenter が提供する機能について説明しています。
JobCenter NonStop Server 環境構築ガイド	NonStop Server 版 JobCenter を利用するためのシステムの環境構築方法について説明しています。

• 改版履歴

版数	変更日付	項目	形式	変更内容
1	2009/05/28	新規作成	—	初版

目 次

1.	<i>NonStop版JobCenter SVの動作環境</i>	7
1.1	対応プラットフォーム	8
1.1.1	HP NonStop Server Sシリーズ	8
1.1.2	HP NonStop Server NSシリーズ	8
1.2	パッケージインストールディレクトリ	9
1.3	インストール以外に必要なディスク容量	10
2.	インストール	11
2.1	インストールの準備をする	12
2.1.1	ネットワークを設定する	12
2.1.2	ホストIDを割り当てる	13
2.2	NonStop版JobCenter SVをインストールする	14
2.2.1	インストール物件を展開する	14
3.	実行環境のセットアップ	15
4.	アンインストール	26
4.1	NonStop版SVのパッケージを削除する	27
4.2	NQS関連データを削除する	27
5.	バージョンアップ	28

5.1 累積パッチ適用によるバージョンアップ 29

索引 32

1. NonStop 版 JobCenter SV の動作環境

HP NonStop Server 版 JobCenter SV（以下、NonStop 版 SV と略記）の動作環境を説明します。NonStop 版 SV は、HP NonStop Server S シリーズおよび HP NonStop Server NS シリーズ、HP NonStop Server J シリーズで動作します。

-
- 1.1 対応プラットフォーム
 - 1.2 パッケージインストールディレクトリ
 - 1.3 インストール以外に必要なディスク容量

1.1 対応プラットフォーム

1.1.1 HP NonStop Server Sシリーズ

1.1.2 HP NonStop Server NSシリーズ

1.1.1 HP NonStop Server S シリーズ

HP NonStop Server S シリーズ上の NonStop 版 JobCenter SV は次の環境で動作します。

<input type="checkbox"/> OS バージョン	<input type="checkbox"/> G06.24 以降
<input type="checkbox"/> 必要ハードウェア・プロダクト	<input type="checkbox"/> E4SA または FESA または GESA
<input type="checkbox"/> 必要ソフトウェア・プロダクト	<input type="checkbox"/> TCP/IP または TCP/IPv6 <input type="checkbox"/> OSS-Native C Run-Time 環境 <input type="checkbox"/> Guardian-Native C Run-Time 環境 <input type="checkbox"/> EMS <input type="checkbox"/> ksh (OSSUTILS - OSS Utilities) <input type="checkbox"/> gtacl (OSS System Utilities) <input type="checkbox"/> TACL <input type="checkbox"/> OSS-Run-Time 環境 <input type="checkbox"/> OSS-FileSystem <input type="checkbox"/> NonStop VHS (\$ZHOME でも可)

1.1.2 HP NonStop Server NS シリーズ、J シリーズ

HP NonStop Server NS シリーズ、J シリーズ上の NonStop 版 JobCenter SV は次の環境で動作します。

<input type="checkbox"/> OS バージョン	<input type="checkbox"/> H06.03 以降、J06.04 以降
<input type="checkbox"/> 必要ハードウェア・プロダクト	<input type="checkbox"/> G4SA
<input type="checkbox"/> 必要ソフトウェア・プロダクト	<input type="checkbox"/> TCP/IPv6 <input type="checkbox"/> OSS-Native C Run-Time 環境 <input type="checkbox"/> Guardian-Native C Run-Time 環境 <input type="checkbox"/> EMS <input type="checkbox"/> ksh (OSSUTILS - OSS Utilities) <input type="checkbox"/> gtacl (OSS System Utilities) <input type="checkbox"/> TACL <input type="checkbox"/> OSS-Run-Time 環境 <input type="checkbox"/> OSS-FileSystem <input type="checkbox"/> NonStop VHS (\$ZHOME でも可)

1.2 パッケージインストールディレクトリ

NonStop 版 JobCenter SV のパッケージは、次のディレクトリ配下にインストールされます。JobCenter パッケージは、デフォルトでは以下のディレクトリ配下にインストールされます。この他にジョブデータを保存する為のディスク領域が任意のパーティションに必要になります。

インストールディレクトリ	インストール対象
/usr/local/netshep	JobCenter 本体
/usr/local/netatlas	GUI 環境部

備考 NonStop 版 SV のインストールには約 25~30 メガバイトの空き容量が必要です。

1.3 インストール以外に必要なディスク容量

インストールディレクトリ以外に、定義したジョブのデータや、ジョブの実行結果を記録するためディスク容量が必要になります。

(1) スプールディレクトリ (/usr/spool/nqs)

実行中のジョブの定義データや実行結果(ジョブの標準出力、標準エラー出力)が一時的に記録されます。1つのジョブにつき最低約 10KB のディスク容量が必要です。またジョブの実行結果情報はデフォルトで約 3 日保存されますが、このとき 1 ジョブについて 1 レコード(128byte) のディスク領域を消費します。ジョブに依存しないログファイルや core ファイル、各種定義ファイル(約 2MB) などこのディレクトリに作成されます。多くの事例では 30MB 程度の容量で運用できます。

(2) JCMON 動作ディレクトリ (\$VOLUME_NAME.JOBCNTR)

セットアップ時に、ユーザ指定の任意のボリューム (VOLUME_NAME) の JOBCNTR というサブボリューム配下に Guardian 環境のプログラムおよび設定スクリプトが配置されます。

ファイル名	インストール対象
JCMON	JCMON 本体
TMPLINST	テンプレートインストール用マクロ
ZJCTMPLE	テンプレートファイル
ZJCMTMPL	テンプレートファイル

備考 JCMON 動作ディレクトリへのファイル配置には約 1 メガバイトの空き容量が必要です。

2. インストール

NonStop 版 SV のインストール方法を説明します。次の手順に従って作業を行ってください。

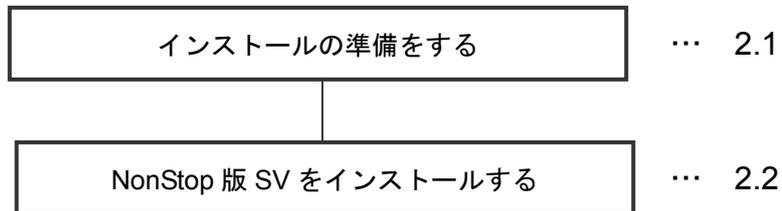


図 2-1 インストールの流れ

2.1 インストールの準備をする

2.2 NonStop版JobCenter SVをインストールする

2.1 インストールの準備をする

インストールを開始する前に必要な設定を行います。

2.1.1 ネットワークを設定する

2.1.2 ホストIDを割り当てる

2.1.1 ネットワークを設定する

JobCenter は、TCP/IP ネットワークの設定が正しく行われていることを前提として動作します。マシンの正式ホスト名から IP アドレスを求め、その IP アドレスから得られたホスト名が正式ホスト名に一致していない場合、JobCenter は動作できません。このチェックはドメインの有無まで行いますので、正確に一致するように設定してください。

複数のマシンで JobCenter を運用する場合、すべてのマシンでホスト名や IP アドレスのデータが一致している必要があります。hosts ファイルの更新漏れなどがないように十分に注意してください。



ネットワークを設定する際には、次の事項に注意してください。

- ◆ ホスト名の名前解決において、正引／逆引が行えること。
- ◆ 正引／逆引で、エイリアスではなくホストの正式名が一致すること。
- ◆ 複数のネットワークカードを実装している場合、個々のネットワークカードに一意のホスト名／IP アドレスが割り当てられていること。
- ◆ JobCenter の連携を行うホスト間で、ホスト名／IP アドレスのデータが一致していること。
- ◆ JobCenter がセットアップされるホスト間にファイアウォールが存在する場合、ファイアウォールに対して JobCenter が使用するネットワークポートの穴あけ作業をすること。実際にどのポート番号について穴あけを行う必要があるかは、本書付録の「NonStop 版 SV が使用するネットワークポート」を参照して下さい。

2.1.2 ホスト ID を割り当てる

JobCenter では、インストール時にそのシステム内で一意となるホスト ID を割り当てる必要があります。ホスト ID を割り当てる際には、次の事項に注意してください。

- ◆ 複数のマシンで JobCenter を使う場合には、ホスト ID が重複しないこと。
たとえば、UNIX のマネージャマシンから複数の Windows のサーバマシンへ単位ジョブの転送を行う場合などで、ホスト ID が重複していると正常に動作できません。ローカルサイトとクラスタサイト間でも重複することはできません。
- ◆ 設定後にホスト ID を変更しないように最初に運用ルールを決めておくこと。
各マシンは別マシンのホスト ID も保持しています。この各マシンの持つホスト ID の情報が一致していないと予期せぬ動作になる場合があります。設定後にホスト ID を変更した場合、一部のマシンに更新漏れなどがあると誤動作の原因になります。

2.2 NonStop 版 JobCenter SV をインストールする

以下に NonStop 版の JobCenter SV のインストール手順を示します。

2.2.1 インストール物件を展開

2.2.1 インストール物件を展開する

インストール媒体「NECSSJBag-R12.8.tar」は/tmp 配下にあらかじめおいてあるものとして説明しています。

su コマンドを実行して SUPER.SUPER ユーザになります。

```
> su
```

mv や cp コマンドを実行して tar モジュールをルート配下におきます。

```
# cp /tmp/NECSSJBag-R12.8.tar /
```

以下の tar コマンドを実行してモジュールを展開します。

```
# tar xvof /NECSSJBag-R12.8.tar
```

ここまでの作業が終わりましたら、「3 実行環境のセットアップ」へ進んで下さい。

3. 実行環境のセットアップ

NonStop 版 JobCenter SV の実行環境のセットアップを行います。以下の (1) から (6) の手順に従ってセットアップを行ってください。

※なお作業前に以下の手順で入力を求められる設定値等をあらかじめご用意ください。詳細は「JobCenter NonStop Server 機能ガイド」をご参照下さい。

(1) ポートの登録

まず「2.1 インストールの準備をする」に従ってネットワークの設定を確認後、NonStop Server 版JobCenter SVが使用する以下のポートを/etc/servicesに追加します。

```
#grep nqs /etc/services
nqs          607/tcp     # JobCenter
```

(2) nssetup コマンド

<1> nssetup コマンドの実行

JobCenter のセットアップを行うには、以下のファイルを実行して下さい。

```
/usr/local/netshep/nssetup
```

<2> JCMON の VOLUME 名の設定

続いて JCMON をインストールする VOLUME 名を入力して下さい。（\$記号をつけてください。）リターンキーを入力すると\$DSMSCM が適用されます。ただし、存在しない VOLUME 名を入力しないで下さい。

```
Setup command, nssetup is started.

INPUT: Volume name JCMON will be installed.
(default, and ex. $DSMSCM)
VOLUME NAME=
```

JCMON に関する環境変数を設定します。

<3> JCMON_NAME の設定

まず、JCMON_NAME を入力して下さい。リターンを入力すると ¥\$JCMON が適用されます。
\$の前にはエスケープ記号 "¥" (Yen) をつけて下さい。

```
Phase setting environment variables for JCMON is starting...

We will set the following environment variables and the DEFINE variable.
- JCMON_NAME      : a process name of master JCMON
- JCMON_CONFIG    : a config file path and name
- JCMON_EMS       : a process name of EMS collector
- TCPIP^PROCESS^NAME : a name of TCP/IP process to be used by JobCenter
- TCPIP_RESOLVER_ORDER : a search order for TCPIP

INPUT: Process name of master JCMON. (default ¥$JCMON)
JCMON_NAME=
```

<4> JCMON_CONFIG の設定

JCMON_CONFIG を入力して下さい。リターンを入力すると /usr/lib/nqs/jcmon/jcmon.conf が適用されます。

```
INPUT: Config file path and name. (default /usr/lib/nqs/jcmon/jcmon.conf)
JCMON_CONFIG=
```

<5> EMS コレクタ の設定

EMS コレクタの名前を入力して下さい。リターンを入力すると ¥\$0 が適用されます。
\$の前にはエスケープ記号 "¥" (Yen) をつけて下さい。

```
INPUT: Process name of EMS collector. (default ¥$0)
JCMON_EMS=
```

<6> TCP/IP のプロセス名の設定

JobCenter の NQS プロトコルが用いる TCP/IP のプロセス名を指定して下さい。リターンを入力すると ¥\$ztc1 が適用されます。\$の前にはエスケープ記号 "¥" (Yen) をつけて下さい。

```
INPUT: Process name of TCPIP. (default ¥$ztc1)
add_define =TCPIP^PROCESS^NAME class=map file=
```

<7> TCPIP_RESOLVER_ORDER の設定

TCPIP の名前解決のための探索順序を選択し、該当番号を入力して下さい。

```
INPUT: Select a number for TCPIP_RESOLVER_ORDER environment variable. (default 0)
  0. no setting
  1. HOSTFILEONLY
  2. HOSTFILE-DNS
  3. DNSONLY
  4. DNS-HOSTFILE
YOUR SELECTED NUMBER:
```

<8> マスタ JCMON のホーム端末 term の設定

JCMON の設定ファイルを作成します。

まず、マスタ JCMON のホーム端末 term を入力して下さい。リターンを入力すると \$VHS が適用されます。

```
Phase setting a config file for JCMON is starting...

We will set the following jcmn configuration variables.
As to monitor process,
- term      : a term name for JCMON
- cpus     : cpus JCMON uses
- priority  : priority of JCMON process
As to nqsdaemon process,
- cpus     : cpus nqsdaemon uses
- restart  : a trial number to restart nqsdaemon
- process  : a process name and path
- priority  : priority of nqsdaemon process

INPUT: Variables for JCMON.
(default term $VHS)
term=
```

<9> マスタ JCMON の CPU の設定

マスタ JCMON が使用する CPU を設定します。マスタ JCMON のプライマリ・プロセスの CPU とバックアップ・プロセスの CPU を “:”(Colon)で区切って記述して下さい。

```
(default cpus 0:1)
cpus=
```

<10> マスタ JCMON のプライオリティの設定

マスタ JCMON のプライオリティを 1~199 の範囲で設定します。
ユーザ環境に従って適切な値を設定して下さい。

```
(default priority 160 )  
priority=
```

設定ファイルに nqsdaemon に関する変数を入力します。

<11> nqsdaemon の CPU の設定

nqsdaemon が使用する CPU を入力します。プライマリ CPU とバックアップ CPU を記述する方法以外に“,”(Comma)で使用可能な複数 CPU を記述する方法があります。

```
INPUT: Variables for nqsdaemon.  
(default cpus 0:1)  
cpus=
```

<12> nqsdaemon の再起動の制限値の設定

nqsdaemon の再起動する制限値を入力します。

```
(default restart 10)  
restart=
```

<13> nqsdaemon のプロセス名の設定

起動する nqsdaemon のプロセス名を記述します。

```
(default process /G/jcsv )  
process=
```

<14> nqsdaemon のプライオリティの設定

nqsdaemon のプライオリティを 1~199 の範囲で設定します。デーモンのプロセスはマスタ JCMON に監視されるため、マスタ JCMON よりもプライオリティを下げて設定するようにします。

```
(default priority 150 )  
priority=
```

以上で設定ファイルの入力は終了です。

<15> ディレクトリ作成の確認

設定ファイルを置くディレクトリの作成を聞かれる場合があります。確認の上、y またはリターンキーを入力して下さい。

```
Changing file modes.  
Creating Symbolic links.  
  
The directory /usr/lib/nqs/jcmon is not found.  
Do you make the directory? ([y],n)
```

続いて入力した VOLUME NAME に従って \$VOLUME_NAME.JOBCNTR 配下に jcmon 等が配置されます。

```
Moving jcmoncontrol, jcmonsh, jcmontacl...  
  
Setting the path of jcmon and jcemspak...  
UNPAK - File decompression program - T1255G06 - (2003-09-22)  
  
Archive version: 1  
File Mode RESTORE Program - T9074G08 (28JUN2004) (AFB)  
(C)2000 Compaq (C)2003 Hewlett Packard Development Company, L.P.  
  
Summary Information  
  
Files restored = 3 Files not restored = 0  
$VOLUME_NAME.JOBCNTR.JCEMSPAK Purged
```

次にディレクトリが自動的に作成されます。(ディレクトリの作成にはしばらく時間がかかります。)

The following step to build NQS database directory may take several minutes.

```
Building NQS database directory.
```

```
Utility [nqsmkdirs]: mkdir exited (0).
```

```
  .  
  .  
  .
```

```
Utility [nqsmkdirs]: mkdir exited (0).
```

```
Utility [nqsmkdirs]: NQS database subdirectory construction is complete.
```

```
Utility [nqsmkdirs]: Exiting.
```

```
Setting maclang.
```

```
nssetup was done.
```

以上で、nssetup コマンドの作業は終了です。

(3) mid.setup コマンド

<1> ホスト名の確認

NQS ホスト名、NQS ホスト ID の登録を行います。下記 getmacname コマンドによって応答される名前が mid.setup コマンドで登録されるホスト名となります。ご確認ください。

```
. /usr/lib/nqs/rc/jcmonenv.sh  
/usr/lib/nqs/getmacname
```

ホスト名が意図した名前でない場合は、ネットワーク環境の設定をご確認ください。(ホスト名はインストール完了後も変更が可能です。その場合は、「JobCenter 環境構築ガイド “5. 環境移行について”」をご参照下さい。) ホスト名がよろしければ、下記コマンドを実行して下さい。

<2> mid.setup コマンドの実行

```
/usr/local/netshep/mid.setup
```

<3> NQS ホスト ID の入力

コマンド実行後、NQS ホスト ID の入力を求められます。

```
Setting NQS host ID.  
INPUT: Machine-id of this machine (default:1)=
```

ここで、あらかじめ決めておいた NQS ホスト ID を入力します。

```
(例) 1234RET
```

nmapmgr コマンドにより NQS ホスト ID が設定されます。

```
Add mid 1234 HOST_NAME  
NMAPMGR> NMAP_SUCCESS: Successful completion.  
NMAPMGR>  
add name HOST_NAME 1234  
NMAPMGR> NMAP_SUCCESS: Successful completion.  
NMAPMGR>
```

(4) EMS テンプレートのインストール

初めて JobCenter をインストールする場合、EMS のテンプレートをインストールする必要があります。EMS テンプレートのインストールは、TACL マクロを使用して行います。TACL のマクロは、インストールされた JCMON と同じサブボリュームに置かれます。

<1> TACL マクロの実行

以下の TACL マクロを実行して下さい。

```
TACL > RUN TEMPLINST
```

TEMPLINST マクロを実行しますと、途中幾つかの項目の入力を求めます。このとき<CTRL+Y>を入力しますと、いつでもインストールを中止することができます。

最初に、現在使用中のテンプレートが表示されます。

```
*****
*                                     *
*           JobCenter EMS Template Installer           *
*                                     *
*****

<<< Current EMS Templates >>>
*NONRESIDENT_TEMPLATES..... $SYSTEM.SYS23.TEMPLATE
*RESIDENT_TEMPLATES..... $SYSTEM.SYS23.RTMPLATE
```

<2> EMS のテンプレートファイル名の入力

次のように新しい EMS のテンプレートファイル名の入力を求めてきますので、現在のテンプレートのファイル名を参考に、適切なファイル名を入力してください。

```
New NONRESIDENT_TEMPLATES ? :$SYSTEM.TEMPLATE.TEMPLATE
New RESIDENT_TEMPLATES ? :$SYSTEM.TEMPLATE.RTMPLATE
```

新しいテンプレートのファイル名の入力を行うと、次のように入力したファイル名が表示されますので、ファイル名を確認し、このままインストールを行うには Y を入力します。ここで N を入力すると、EMS テンプレートのインストールがスキップされます。

```
<<< New EMS Templates >>>
*NONRESIDENT_TEMPLATES..... $SYSTEM.TEMPLATE.TEMPLATE
*RESIDENT_TEMPLATES..... $SYSTEM.TEMPLATE.RTMPLATE

Install EMS Templates ? <Y or N> :Y
```

EMS のテンプレートのインストールが開始されると、次のようなメッセージが表示されます。EMS テンプレートのインストールには暫く時間が掛かります。

```

Install EMS Templates
.
.
.
DSM TEMPLATE INSTALLER, Version 2.3 21AUG00 - T6015G01 - (21AUG00)
*** INSTALL^TEMPLATES: Starting template install ***
.
.
.
    Resident templates file: $SYSTEM.TEMPLATE.RTMPLATE
    Nonresident templates file: $SYSTEM.TEMPLATE.TEMPLATE

        Templates: 30990
        Resident templates: 729
        Resident size (bytes): 151552

        Warnings: 0
        Errors: 0
.
.
>$SYSTEM.SYSTEM.SCF /NAME $Y4WL, INV :INBUF.1, OUTV :OUTBUF.4/
SCF - T9082G02 - (04MAY04) (07APR04) - 07/01/2005 11:44:55 System ¥HOST_NAME
.
.
.
SECURE ($SYSTEM.TEMPLATE.RTMPLATE, $SYSTEM.TEMPLATE.TEMPLATE), "NNNN"
*** INSTALL^TEMPLATES: Completed sucessfully ***

```

次に JobCenter の EMS テンプレートを \$SYSTEM.ZTEMPL にコピーするか、次のように確認を求めます。Y を入力するとコピーを開始し、N を入力するとコピーをスキップします。コピーを行ったとき、既にファイルが存在していた場合は、上書きするか確認するメッセージが表示されますので、上書きするのであれば Y、しないのであれば N を入力してください。

```

Copy JobCenter EMS Template to $SYSTEM.ZTEMPL ? <Y or N> :Y

Copy JobCenter EMS Template.....
FILES DUPLICATED: 1
FILES DUPLICATED: 1

```

最後に次のようにメッセージが表示されれば、EMS のテンプレートのインストールは完了です。

```
<<< JobGetner EMS Template Installation Complete >>>
```

(5) nssetup2 コマンドの実行

キューに関する設定を行うため、nssetup2 コマンドを実行して下さい。

```
/usr/local/netshep/nssetup2
```

ここでは、qmgr コマンドを用いて設定を行っております。nqsdaemon の起動失敗時は、/usr/spool/nqs/.pidfile という状態ファイルを削除し、ネットワークの環境設定を確認・修正後、nssetup2 コマンドを再度実行して下さい。

(6) JobCenter のサービスの開始

最後に以下のコマンドで JobCenter のサービスを開始します。

```
/usr/lib/nqs/nqsstart
```

サービスが開始できない場合は、/usr/lib/nqs/rc/jcmonenv.sh や/usr/lib/nqs/jcmon/jcmon.conf 等の設定、ネットワーク環境の設定をもう一度ご確認下さい。

4. アンインストール

NonStop 版 SV のアンインストール方法を説明します。

-
- 4.1 NonStop版SVのパッケージを削除
 - 4.2 NQS関連データを削除する

4.1 NonStop 版 SV のパッケージを削除する

NonStop 版 SV のパッケージ削除は以下の作業をマニュアルで行う必要があります。

- /usr/local/netshep ディレクトリ配下の削除
- /usr/local/netatlas ディレクトリ配下の削除
- /usr/lib/nqs から/usr/local/netshep/lib/nqs へのシンボリックリンクの削除
- /usr/lib/netatlas から/usr/local/netatlas へのシンボリックリンクの削除
- /usr/bin 配下の JobCenter のコマンド (nmapmgr, qdel, qmgr, qstat, qstata, qstatq, qstatr, qsub) から/usr/local/netshep/bin 配下のコマンドへのシンボリックリンクの削除
- \$<VOLUME名>.JOBCNTR.JCMONにある JCMON 関連のファイル (jcmon, tmplinst, zjctmple, zjcmtmpl) の削除

4.2 NQS 関連データを削除する

NQS 関連のデータを削除する場合は、次のディレクトリを削除して下さい。

- /usr/spool/nqs

5. バージョンアップ

NonStop 版 JobCenter SV R12.8 へのバージョンアップ方法を説明します。

5.1 累積パッチ適用によるバージョンアップ

5.1 累積パッチ適用によるバージョンアップ

累積パッチを適用することにより、R12.8 へのバージョンアップが可能です。

(1) 対象バージョン

対象となるバージョンは以下の通りです。

- R12.4.2
- R12.4.4
- R12.4.4.1
- R12.5
- R12.5.1
- R12.5.2
- R12.6
- R12.6.1
- R12.7

(2) バージョンアップ手順



パッチの適用は、SUPER.SUPER ユーザで行う必要があります。

<1> JobCenter の停止

パッチパッケージの適用前に、JobCenter を停止します。デーモンの停止は以下のコマンドにて行います。

```
> /usr/lib/nqs/nqsstop
```

<2> パッチパッケージの展開

/usr/local/netshep/newobj 配下に古いファイルがある場合は、退避してください。
パッチパッケージを/usr/local/netshep 配下に置き、下記のコマンドで展開します。

```
> cd /usr/local/netshep  
> tar xvof <パッチパッケージ名> .
```

<3> パッチパッケージのインストール

configure.jpatch というシェルスクリプトを実行します。

```
> /usr/bin/sh /usr/local/netshep/newobj/configure.jpatch
```

Move this file configure.jpatch to <移動先ディレクトリ>manually.
と表示されたら、同ファイルを移動します。

```
> /bin/mv /usr/local/netshep/newobj/configure.jpatch <移動先ディレクトリ>
```

<4> パッチ適用後の確認方法

/usr/local/netshep/lib/nqs/check/version.info が新しいパッチバージョンのファイルかを確認してください。

<5> JobCenter の再起動

パッチパッケージ適用後、JobCenter を再起動します。デーモンの起動は以下のコマンドにて行います。

```
> /usr/lib/nqs/nqsstart
```

(3) パッチの適用解除手順（作業が必要な場合のみ）

下記の作業により、本パッチの適用前のバージョン環境に戻すことができます。

 パッチの適用解除は、SUPER.SUPER ユーザで行う必要があります。

<1> JobCenter の停止

パッチパッケージの適用前に、JobCenter を停止します。デーモンの停止は以下のコマンドにて行います。

```
> /usr/lib/nqs/nqsstop
```

<2> パッチパッケージのアンインストール

unconfigure.jpach というシェルスクリプトを実行します。

```
> /usr/bin/sh /usr/local/netshep/orgobj/R12.8/unconfigure.jpach
```

Move this file unconfigure.jpach to <移動先ディレクトリ> manually.
と表示されたら、同ファイルを移動します。

```
> /bin/mv /usr/local/netshep/orgobj/R12.8/unconfigure.jpach <移動先ディレクトリ>
```

<3> パッチ適用解除後の確認方法

/usr/local/netshep/lib/nqs/check/version.info がパッチ適用前のバージョンのファイルかを確認してください。

<4> JobCenter の再起動

パッチパッケージ適用解除後、JobCenter を再起動します。デーモンの起動は以下のコマンドにて行います。

```
> /usr/lib/nqs/nqsstart
```

索引

[\$]

\$VOLUME_NAME.JOBCNTR … 10

[/]

/usr/spool/nqs … 10

[C]

CPU … 17, 18

[E]

EMS コレクタ … 16

EMS テンプレート … 22

[J]

JCMON_CONFIG … 16

JCMON_NAME … 16

JCMON 動作ディレクトリ … 10

[M]

mid.setup … 21

[N]

NQS … 27

nqsdaemoon … 18

nssetup … 15

nssetup2 … 25

NS シリーズ … 8

[S]

S シリーズ … 8

[T]

TACL マクロ … 22

TCP/IP … 16

TCPIP_RESOLVER_ORDER … 17

term … 17

[V]

VOLUME … 15

[あ]

アンインストール … 26, 31

インストール … 11, 12, 14, 30

インストールディレクトリ … 9

インストール物件 … 14

[か]

確認方法 … 30, 31

[さ]

サービス … 25

再起動 … 30, 31

削除 … 27

実行環境 … 15

準備 … 12

スプールディレクトリ … 10

制限値 … 18

セットアップ … 15

[た]

対象バージョン … 29

停止 … 29, 31

ディスク容量 … 10

適用解除手順 … 31

展開 … 14, 29

動作環境 … 7

[な]

ネットワーク … 12

[は]

バージョンアップ … 28, 29

バージョンアップ手順 … 29

パッケージ … 9, 27

パッチパッケージ … 29

プライオリティ … 18

プラットフォーム … 8

ポート … 15

ホーム端末 … 17

ホスト ID … 13, 21

ホスト名 … 21

[ま]

マスタ JCMON … 17

[ら]

累積パッチ … 29

[わ]

割り当て … 13

発行年月 May 2009

© NEC Corporation 2009